

証券コード：9179

# 第43期 ビジネスレポート

2008年4月1日 ▶ 2009年3月31日



"K" LINE KINKAI

"K" LINE KINKAI



JP TSUBAKI

川崎近海汽船株式会社

# “K”LINE KINKAI

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、当社は2009年3月31日をもって、第43期を終了いたしました。  
ここにビジネスレポートをお届けし、その概況等につきまして  
ご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。  
株主の皆様には引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

### CONTENTS

株主の皆様へ .....	1
財務ハイライト .....	2
トップインタビュー .....	3
部門別営業概況・運航船のご紹介 .....	5
財務情報（連結財務諸表） .....	7
財務情報（個別財務諸表） .....	9
トピックス .....	10
特集「アンケート結果報告」 .....	11
株式の状況 .....	13
会社概要 .....	14
株主メモ .....	裏表紙

代表取締役会長  
荒木 武文

代表取締役社長  
森原 明

## 2009年3月期の業績結果

### 連結業績

売上高	480億63百万円(前期比+ 4.9%)
営業利益	54億14百万円(前期比+40.4%)
経常利益	50億96百万円(前期比+45.3%)
当期純利益	28億38百万円(前期比+26.1%)

### 連結財政状態

総資産	403億93百万円
純資産	184億49百万円

### 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー	72億13百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31億 1百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19億21百万円

### 年間配当金

1株当たり普通配当 18円(前期比+4円)

## 2010年3月期の業績予想

### 連結業績

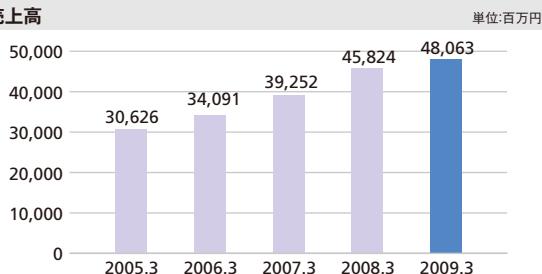
	第1・第2四半期 累計	通 期
売上高	168億円	350億円
営業利益	1億円	10億円
経常利益	0億円	8億円
当期純利益	△1億円	4億円

(通期の円ドル為替レート想定 1ドル=95円)

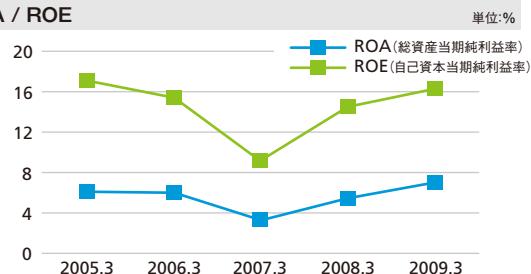
### 年間配当金

1株当たり普通配当 5円を予定

### 売上高



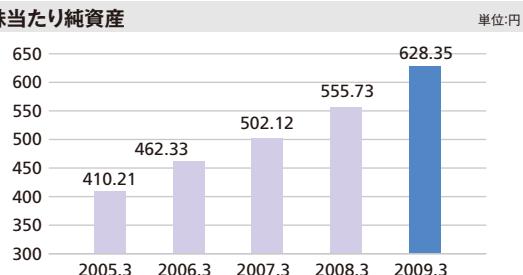
### ROA / ROE



### 経常利益 / 当期純利益



### 1株当たり純資産



## Q 当期の海運業界を取り巻く状況と御社への影響についてお聞かせください。

当期におけるわが国経済は、期央に発生した米国発の金融市場の混乱が世界的規模で拡大し、企業収益の低下や設備投資の減少、個人消費の低迷など実体経済にもその影響が拡がり、製造業の減産、在庫調整により国内景気は急速に悪化しました。

海運業界では、外航海運は金融収縮、世界貿易の縮小がアジア諸国にも波及しましたので、中国を中心とする新興国の旺盛な原材料輸送需要に支えられていた荷動きが秋口より一転して急落に転じ、また大幅な為替変動も重なり厳しい局面となりました。内航海運は年度前半に燃料油価格の暴騰に苦しめられましたが、後半の価格急落による運航コストの減少で収支は改善に向かいました。しかし、年明け以降は急速な国内景気の減速により一般雑貨や鉄鋼等の素材産業を中心とした原材料輸送の荷動きが低迷しました。

こうした状況下、当社は顧客のニーズ、荷動きに的確に対応しながら近海、内航、フェリーの各部門にわたりきめ細かな営業活動と効率的な配船、諸経費の節減に努めました。

その結果、年度前半の旺盛な荷動き、また天候に恵まれ船舶が高稼働であったことと相まって、当期の売上高は480億63百万円となり、前期に比べて4.9%の増収となりました。経常利益は50億96百万円となり前期に比べて45.3%の増益、当期純利益は28億38百万円となり前期に比べて26.1%の増益となりました。

## Q 中期的な会社の経営戦略と対処すべき方策についてご説明ください。

世界的な不況による景気後退の局面は長期化し、不安定



な雇用環境の下で個人消費はさらに冷え込み、企業の設備投資は低迷するものと予想されます。海上貨物の荷動きに関しましても年度後半には回復の兆しが出てくると見えますが、内外航海運とも低調に推移する見通しであり、海運業界を取り巻く情勢は依然として厳しいものと思われます。

こうした状況下、当社といたしましては引き続き安全運航と効率的な航路運営を行い、コスト削減に努め収益の回復を図るとともに変化する顧客のニーズと中期的な市場動向を慎重に見極めながら、経営基盤の安定化を図って行きたいと考えております。

各部門の今後の課題と取り組みにつきましては、以下のとおりです。

### 近海部門

近海不定期船部門では昨年秋口より続く市況の低迷により、主力貨物である石炭等のばら積み輸送は一転して厳し

い環境となる見込みです。また、近海定期船部門におきましても、鉄鋼製品、木材製品ともに運賃、輸送量の低下による収支の悪化は避けられない情勢にあります。こうした状況下、当近海部門では適正船腹量の調整や運航コストの低減等を図り、きめ細かい事業運営の構築に努めます。

## 内航部門

内航不定期船部門では、石灰石専用船を中心に既就航船の効率運航に引き続き取り組んでまいります。

内航定期船部門では、主要航路の基点である茨城港（常陸那珂港区・日立港区）の港湾整備に伴い引き続き航路運営の効率化を目指します。また、北海道―関東―九州間の航路網の充実を図り、中継貨物も含め輸送量の拡大に積極的に取り組みます。

## フェリー部門

フェリー部門では、八戸―苫小牧航路の4隻運航体制を堅持し安全運航に万全を期し、航路運営に努めます。トラック・旅客輸送ともに本州と北海道間の物流動向を見極め、より一層顧客の利便性とサービスの向上を図る所存です。

## 近海部門

上期の輸送量は好調であった昨年上期に比べて落ち込むと予想しており、石炭等ばら積みCOA契約\*は、マーケットの低下が避けられず収支は大きく悪化する見込みです。また、定期航路の鋼材、木材製品も輸送量の減少が見込まれ、回復は下半期以降になると予想しております。

## 内航部門

石灰石専用船は安定稼働が見込まれますが、一般貨物船の荷動きは極めて低調になりそうです。一方定期航路も荷動き減少傾向にあります。北関東の拠点である茨城港の港湾整備に伴い、関東圏の貨物の誘致に積極的に取り組み、輸送量の維持に努めます。

## フェリー部門

八戸航路の4隻運航体制の堅持により、着実な輸送量を維持できる見通しです。

株主の皆様には今後とも変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Q 次期(第44期・2010年3月期)の業績見通しについてお話しください。

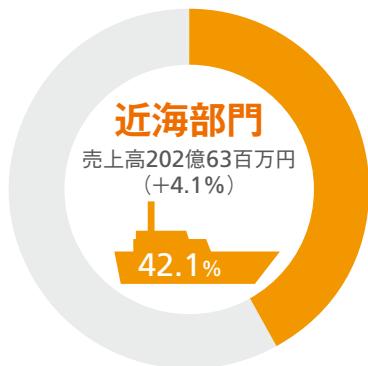
昨年後半より国内外の市況が急速に悪化し、今後の当社を取り巻く経営環境もさらに厳しい状況になると考えており、次期の業績につきましては売上高350億円、営業利益10億円、経常利益8億円、当期純利益4億円を見込んでおります。

次期の配当金につきましては、当社の財政状況および通期の業績見通し等を勘案し、年間配当金は1株当たり5円を予定しております。

各部門別の見通しは、以下のとおりです。

\*一定の期間に、一定数量の特定貨物を特定の積地から特定の揚地に一定の運賃で輸送する契約

# 部門別営業概況・運航船のご紹介



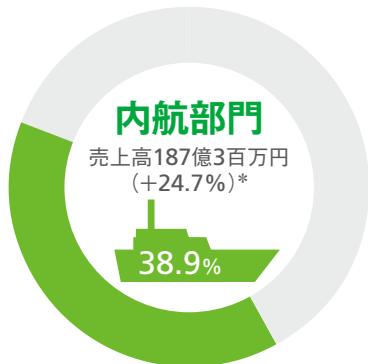
## 不定期船 (12隻)

期初から高水準に推移した近海船市況が秋口から急落に転じましたが、日本向け石炭・ドロマイト等ばら積み貨物輸送において期初に年度契約を締結していたことにより安定した収益をあげました。



TROPICAL BREEZE

日本、東南アジア、極東アジアにおける南洋材、チップ、石炭などを輸送。石炭輸送においては、中国炭、ロシア炭輸送の有力船社として確固たる地位を築いています。  
SUNROAD YATSUKA / ORIENT ACE / PACIFIC CHIKUSA 他



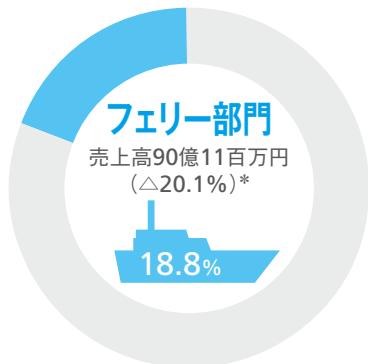
## 不定期船 (9隻)

年度後半に国内景気後退の影響から粗鋼生産量が低下する厳しい環境となり、内航船市況も急落しましたが、石灰石、石炭の各専用船は高稼働を維持し、安定した輸送量を維持することができました。一方、小型貨物船においては輸送量減少とともに稼働が大幅に低下しました。



千津川丸

鉄鋼副原料、セメント原料としての石灰石や電力用石炭をはじめ、多様な物資を全国各地に輸送しています。  
須寿川丸 / 美津川丸 / 川洋丸 他



## フェリー (4隻)

八戸―苫小牧航路では、年度前半ではガソリン価格の高騰、後半以降は国内景気後退により旅行需要が低迷したため、旅客数、乗用車輸送台数は減少しました。一方、トラック輸送では引き続き積極的な営業活動を行なったこと、ならびに宅配貨物・食品等の急送品の輸送ニーズに応えるため、2007年11月に実施したダイヤ改正の効果が期中を通して表れた結果、トラックの輸送量は増加しました。



べにりあ

苫小牧―八戸間を毎日4便運航。本州と北海道を最短ルートで結ぶ重要基幹航路として地域産業の発展に大きく貢献しています。  
シルバークイーン / フェリーはちのへ / ペガ



## 定期船 (16隻)

往航の香港・海峽地およびタイ向けの鋼材輸送量は年度前半では安定していましたが、後半に世界的経済不況の影響を受け、一転して輸送量は減少しました。復航ではマレーシアからの合板輸送も、国内景気の悪化に伴う国内需要の低迷により、輸送量は減少しましたが、石膏・砂糖等のばら積み貨物輸送に積極的に取り組んだ結果、これら貨物の輸送量は増加しました。



MARINE EMERALD

鋼材、機械、一般雑貨、木材製品などを輸送する日本と東南アジアを結ぶ定期航路。企業の国際物流に対応した海上輸送の一翼を担っています。  
ORIENT KING / SHINKEN ACE /  
MARINE DIAMOND 他

## 定期船 (10隻)

紙専用船は荷主との長期契約により引き続き安定した輸送量を確保しました。一般雑貨輸送では、釧路一日立航路および関東発着の苫小牧航路は景気悪化に伴い紙製品等の輸送量が減少しましたが、北関東—北九州航路では、引き続き積極的な新規貨物の開拓を図り、北海道との接続貨物を含め輸送量は前期に比べて増加しました。



ほうくれん丸

生乳をはじめ、紙製品、農水産物、一般雑貨などを輸送する定期航路。スピーディで高品質な海上輸送を提供しています。北関東を中継し、北海道—九州間の一貫輸送も可能となりました。  
ほっかいどう丸 / 神川丸 / げんかい 他

\*2008年4月1日より東京—苫小牧航路をフェリー部門から内航部門に移管しましたが、内航部門、フェリー部門を合わせた連結売上高は277億15百万円となり前年同期に比べて5.5%の増収となりました。



# 財務情報

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	第43期 2009年3月31日現在	第42期 2008年3月31日現在	比較増減
<b>流動資産</b>	<b>10,686,083</b>	<b>10,515,475</b>	<b>170,608</b>
現金及び預金	696,538	1,027,199	△330,600
受取手形及び営業未収金	4,191,387	5,625,328	△1,433,940
たな卸資産	—	973,077	△973,077
原材料及び貯蔵品	490,007	—	490,007
繰延税金資産	173,381	164,474	8,907
短期貸付金	4,205,000	1,709,000	2,496,000
その他	939,521	1,026,500	△86,979
貸倒引当金	△9,753	△10,102	349
<b>固定資産</b>	<b>29,707,700</b>	<b>30,543,372</b>	<b>△835,671</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>(28,638,689)</b>	<b>(28,750,264)</b>	<b>(△111,575)</b>
船舶（純額）	25,924,647	25,854,258	70,388
建物及び構築物（純額）	568,507	593,862	△25,354
土地	1,178,753	1,178,753	—
建設仮勘定	826,364	937,733	△111,368
その他（純額）	140,415	185,657	△45,241
<b>(無形固定資産)</b>	<b>(95,847)</b>	<b>(100,182)</b>	<b>(△4,334)</b>
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>(973,164)</b>	<b>(1,692,925)</b>	<b>(△719,761)</b>
投資有価証券	607,598	934,745	△327,146
長期貸付金	233,095	263,694	△30,598
繰延税金資産	38,911	27,702	11,209
敷金保証金	230,956	230,939	17
その他長期資産	245,387	288,508	△43,121
貸倒引当金	△382,786	△52,665	△330,121
<b>資産合計</b>	<b>40,393,784</b>	<b>41,058,848</b>	<b>△665,063</b>

(単位：千円)

負債の部	第43期 2009年3月31日現在	第42期 2008年3月31日現在	比較増減
<b>流動負債</b>	<b>7,970,252</b>	<b>9,447,057</b>	<b>△1,476,804</b>
支払手形及び営業未払金	2,606,780	3,914,747	△1,307,966
短期借入金	2,848,856	3,017,523	△168,667
未払法人税等	1,273,875	1,118,196	155,678
賞与引当金	190,284	186,237	4,047
役員賞与引当金	62,000	53,000	9,000
その他	988,456	1,157,353	△168,897
<b>固定負債</b>	<b>13,974,369</b>	<b>15,295,911</b>	<b>△1,321,542</b>
長期借入金	12,287,109	13,541,665	△1,254,556
繰延税金負債	466,455	527,698	△61,242
再評価に係る繰延税金負債	89,090	89,090	—
退職給付引当金	165,420	226,033	△60,612
役員退職慰労引当金	621,856	612,109	9,747
特別修繕引当金	329,823	288,343	41,480
その他	14,613	10,971	3,641
<b>負債合計</b>	<b>21,944,621</b>	<b>24,742,968</b>	<b>△2,798,346</b>

(単位：千円)

純資産の部	第43期 2009年3月31日現在	第42期 2008年3月31日現在	比較増減
<b>株主資本</b>	<b>19,095,437</b>	<b>16,756,203</b>	<b>2,339,233</b>
資本金	2,368,650	2,368,650	—
資本剰余金	1,248,849	1,248,783	66
利益剰余金	15,504,887	13,166,004	2,338,882
自己株式	△26,948	△27,233	284
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△646,275</b>	<b>△440,324</b>	<b>△205,950</b>
その他有価証券評価差額金	36,941	220,466	△183,524
繰延ヘッジ損益	△9,203	△258	△8,945
土地再評価差額金	△666,287	△666,287	—
為替換算調整勘定	△7,725	5,754	△13,480
<b>純資産合計</b>	<b>18,449,162</b>	<b>16,315,879</b>	<b>2,133,283</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>40,393,784</b>	<b>41,058,848</b>	<b>△665,063</b>

連結損益計算書

(単位：千円)

	第43期		比較増減
	自 2008年4月1日 至 2009年3月31日	自 2007年4月1日 至 2008年3月31日	
売上高	48,063,192	45,824,635	2,238,557
売上原価	38,957,600	38,393,824	563,776
売上総利益	9,105,591	7,430,810	1,674,780
販売費及び一般管理費	3,690,601	3,573,614	116,987
営業利益	5,414,989	3,857,196	1,557,793
営業外収益			
受取利息	46,756	19,690	27,065
受取配当金	27,160	29,557	△2,396
その他営業外収益	22,818	18,969	3,848
(営業外収益合計)	(96,735)	(68,217)	(28,517)
営業外費用			
支払利息	273,015	312,507	△39,492
為替差損	126,246	100,575	25,670
その他営業外費用	15,491	3,775	11,716
(営業外費用合計)	(414,753)	(416,858)	(△2,105)
経常利益	5,096,971	3,508,555	1,588,416
特別利益			
固定資産売却益	—	405,685	△405,685
特別修繕引当金取崩益	—	34,820	△34,820
貸倒引当金戻入額	8,800	18,050	△9,249
(特別利益合計)	(8,800)	(458,555)	(△449,755)
特別損失			
固定資産売却損	—	15,607	△15,607
投資有価証券評価損	25,819	28,000	△2,181
貸倒引当金繰入額	352,700	—	352,700
(特別損失合計)	(378,519)	(43,608)	(334,910)
税金等調整前当期純利益	4,727,253	3,923,502	803,750
法人税、住民税及び事業税	1,993,683	1,620,321	373,362
法人税等還付額	△147,404	—	△147,404
法人税等調整額	42,960	52,589	△9,629
当期純利益	2,838,013	2,250,591	587,422

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	第43期		第42期
	自 2008年4月1日 至 2009年3月31日	自 2007年4月1日 至 2008年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,213,243	5,451,522	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,101,413	△2,571,003	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,921,814	△2,126,626	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,676	△110,738	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,165,339	643,152	
現金及び現金同等物の期首残高	2,736,199	2,093,046	
現金及び現金同等物の期末残高	4,901,538	2,736,199	

連結株主資本等変動計算書 (自2008年4月1日 至2009年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
2008年3月31日残高	2,368,650	1,248,783	13,166,004	△27,233	16,756,203	220,466	△258	△666,287	5,754	△440,324	16,315,879
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△499,131		△499,131						△499,131
当期純利益			2,838,013		2,838,013						2,838,013
自己株式の取得				△39	△39						△39
自己株式の処分		66		324	390						390
土地再評価差額金の取崩			—		—						—
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△183,524	△8,945	—	△13,480	△205,950	△205,950
連結会計年度中の変動額合計	—	66	2,338,882	284	2,339,233	△183,524	△8,945	—	△13,480	△205,950	2,133,283
2009年3月31日残高	2,368,650	1,248,849	15,504,887	△26,948	19,095,437	36,941	△9,203	△666,287	△7,725	△646,275	18,449,162

# 財務情報

## 個別貸借対照表 (要約版)

(単位：千円)

資産の部	第43期 2009年3月31日現在	第42期 2008年3月31日現在
流動資産	10,015,687	9,841,874
固定資産	23,363,329	23,854,119
有形固定資産	16,835,768	18,086,120
無形固定資産	95,250	99,585
投資その他の資産	6,432,310	5,668,414
資産合計	33,379,016	33,695,994

(単位：千円)

負債の部	第43期 2009年3月31日現在	第42期 2008年3月31日現在
流動負債	6,520,024	7,875,426
固定負債	8,432,339	9,540,307
負債合計	14,952,364	17,415,734

(単位：千円)

純資産の部	第43期 2009年3月31日現在	第42期 2008年3月31日現在
株主資本	19,050,588	16,715,367
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,783
資本準備金	1,245,615	1,245,615
その他資本剰余金	3,234	3,168
利益剰余金	15,460,037	13,125,167
利益準備金	321,703	321,703
その他利益剰余金		
特別償却準備金	828,282	702,893
圧縮記帳積立金	145,276	174,381
別途積立金	9,100,000	7,300,000
繰越利益剰余金	5,064,774	4,626,188
自己株式	△26,948	△27,233
評価・換算差額等	△623,936	△435,107
その他有価証券評価差額金	36,941	220,466
繰延ヘッジ損益	5,409	10,712
土地再評価差額金	△666,287	△666,287
純資産合計	18,426,652	16,280,259
負債純資産合計	33,379,016	33,695,994

## 個別損益計算書 (要約版)

(単位：千円)

	第43期 自 2008年4月1日 至 2009年3月31日	第42期 自 2007年4月1日 至 2008年3月31日
営業収益	47,830,134	45,510,937
営業費用	42,576,420	41,907,408
営業利益	5,253,713	3,603,529
営業外収益	125,438	96,318
営業外費用	294,298	323,517
経常利益	5,084,853	3,376,330
特別利益	8,800	444,825
特別損失	378,519	43,296
税引前当期純利益	4,715,135	3,777,859
法人税、住民税及び事業税	1,972,000	1,575,000
法人税等還付額	△147,404	—
法人税等調整額	56,538	62,129
当期純利益	2,834,001	2,140,730





## 株主の皆様から頂いたご意見について お答えします

現在の市場環境では株価が低迷していますが、今後の経営の方向について教えてください。



**a** 昨年の米国金融市場の混乱に端を発した世界同時不況による景気後退は長期化し、さらに個人消費は冷え込み、あわせて企業の設備投資も減少すると予想されます。海上貨物の荷動きに関しましても年度後半には回復の兆しが出てくると見ていますが、内外航海運とも低調に推移する見通しであり、海運業界を取り巻く情勢は依然として厳しいものと思われまます。

こうした状況下、当社といたしましては引き続き安全運航と効率的な航路運営を行い、諸経費の削減に努め収益の回復を図るとともに変化する顧客のニーズ、荷動きに的確に対応し、また中期的な市場動向を慎重に見極めながら、経営基盤の安定を図っていきたくと考えております。

海運業務は地道な日常業務の繰り返しという面もありますが、当社は確実に安全運航を続けることによって顧客の信頼を勝ち得てきた強みを今後も維持し、なお一層の信頼を目指したいと考えています。

ご理解のほどお願い申し上げます。

株主還元についてのお考えを教えてください。



**a** 当社は1990年3月期から連続して配当を実施しております。株主還元としましては、これからも株主の皆様へ継続的に安定的な配当を行うように努めることとし、配当金額につきましては、収益状況に応じて経営基盤の強化、事業展開に備えた内部留保の充実なども勘案した総合的な判断に基づき決定したいと存じます。

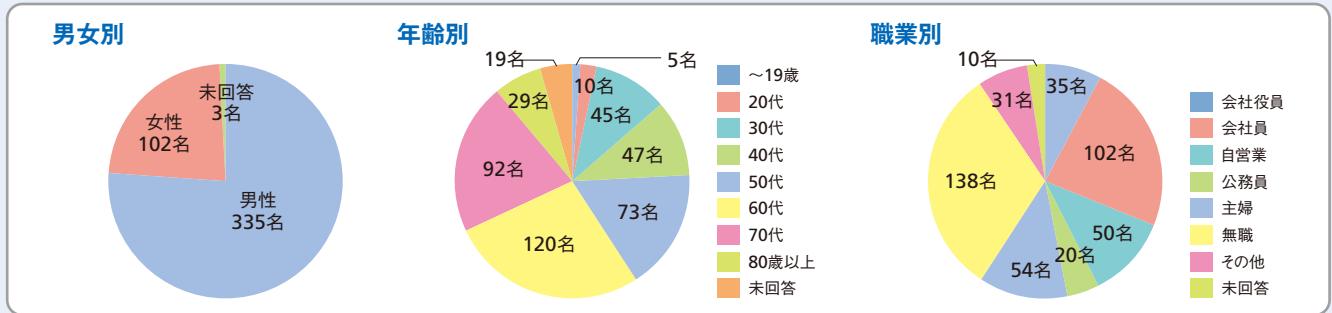
なお、2009年度の配当金に関しましては、年間配当金として、1株当たり5円を予定しておりますが、今後の当社の財政状況および通期の業績見通し等を勘案したうえで最終的に決定していきたくと存じます。

もっと御社のIR活動について教えてください。

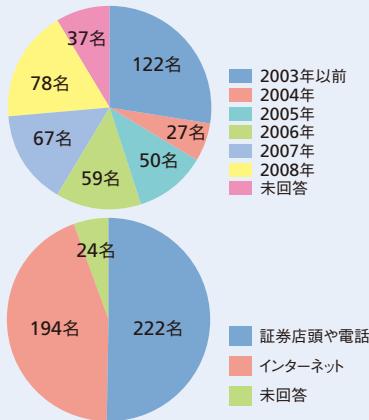


**a** 当社では、株主の皆様へ年2回、6月に『ビジネスレポート』、12月に『株主通信』をお送りしております。また、関係プレスへの開示情報は、即時的に当社のホームページIR情報 (<http://www.kawakin.co.jp/ir/index.html>) にて開示しておりますので、ぜひそちらもご利用ください。

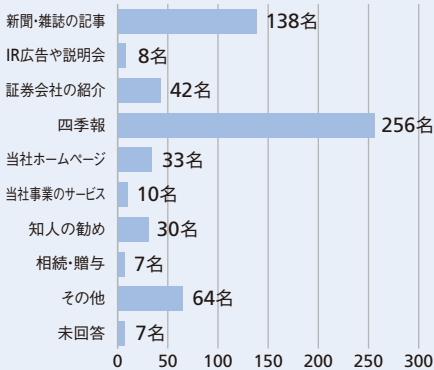
2008年9月末の株主様1,865名中、440名の株主様からご回答を頂きました。



### 当社株式に投資された時期と注文方法は？



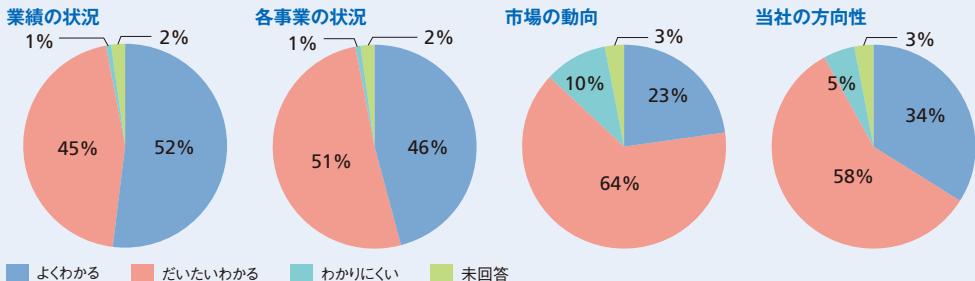
### 当社株式に投資いただいたきっかけは？（複数回答可）



### 当社に投資した今後の期待・魅力はどんな点でしょうか？（複数回答可）



### 今回お送りした「株主通信」についてお聞かせください。

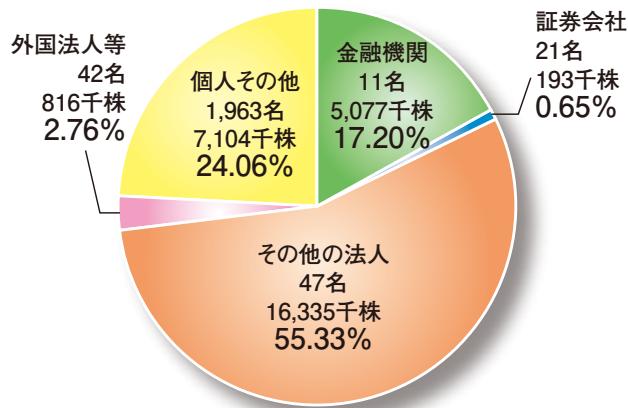


# 株式の状況 (2009年3月31日現在)

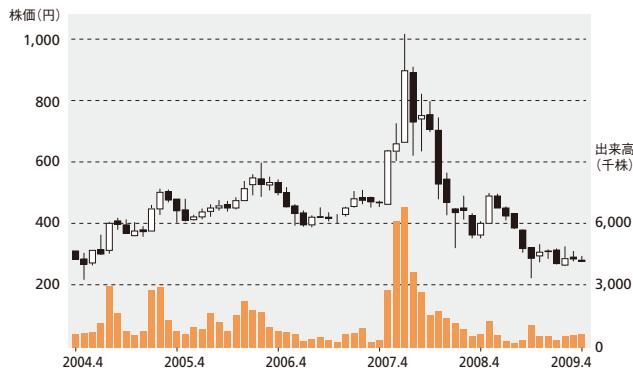
- 会社が発行する株式の総数 97,300,000株
- 発行済株式の総数 29,525,000株  
(資本金2,368,650千円)
- 株主数 2,084名  
(前期末比 217名増)
- 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
川崎汽船株式会社	14,040	47.83
東京海上日動火災保険株式会社	1,840	6.27
株式会社損害保険ジャパン	1,080	3.68
三井住友海上火災保険株式会社	855	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	714	2.43
川崎近海汽船従業員持株会	364	1.24
北海運輸株式会社	350	1.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	306	1.04
株式会社栗林商会	304	1.04
株式会社ダイトコーポレーション	278	0.95

## 株式の所有者別状況



## 株価及び株式売買高の推移 (2009年4月末現在)



## 豆知識

### 船の用語

船の世界には、独特の用語が多くあります。よく耳にする「オモカジ」は、舵を船尾からみて右側にとることをいい、反対に左側にとることを「トリカジ」といいます。「ヨウソク」は「よく候」が語源で、そのときの針路をまっすぐ進めという意味です。船首を「オモテ」、船尾を「トモ」といい、「まとも」という言葉の語源は、この「トモ」に由来し、本来船尾からまともに風を受けることです。また、船首を沖や港口に向け着岸することを「出船つなぎ」、船尾を沖に向けて着岸することを「入り船つなぎ」といいます。

【知ってビックリ! 船の大疑問】河出書房新社



トリカジ



オモカジ

# 会社概要 (2009年6月26日現在)

K LINE KINKAI

<p><b>社 名</b> 川崎近海汽船株式会社 KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA, LTD.</p> <p><b>設 立</b> 1966年(昭和41年)5月1日</p> <p><b>本 社</b> 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号</p> <p><b>資 本 金</b> 23億6,865万円</p> <p><b>代 表 者</b> 代表取締役社長 森原 明</p> <p><b>従 業 員 数</b> 392名(2009年3月31日現在)</p> <p><b>主な事業内容</b> 海上運送事業 海運仲立業 港湾運送事業および倉庫業 貨物運送取扱事業 海運代理店業</p>	<p><b>役 員</b></p> <p>代表取締役会長 荒木 武文 代表取締役社長 森原 明 専務取締役 秋山 好史 専務取締役 田村 周三 常務取締役 谷本 賢三 常務取締役 中村 誠 常務取締役 石井 繁礼 取締役 木村 孝史 取締役 小柳 政幸 取締役 丸山 義貴 取締役 上杉 芳人 取締役 赤沼 宏 取締役 山田 敏雄 監査役 岸野 憲 監査役 新 勝好 監査役(非常勤) 向川 讓 監査役(非常勤) 生和 勉</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 運航船舶 (2009年3月31日現在)

※他社との共有船

	船 名	船 種	総トン数	重量トン数(K/T)	主要馬力	航海速度	建造年月	就航状況
社 船 ・ 共 有 船	ほっかいどう丸	RORO	12,526	5,937	D-32,400×2	20.0	1999年9月	内航定期船
	シルバークィーン	フェリー	7,005	3,455	D-12,000×2	20.7	1998年3月	フェリー
	フェリーはちのへ	フェリー	5,603	3,352	D-5,740×2	18.2	1989年7月	フェリー
	美津川丸	石灰石専用	3,497	5,800	D-3,350	12.5	2007年10月	内航不定期船
	須寿川丸	ブッシャーバージ	94	3,918	D-2,400	9.8	1992年7月	内航不定期船
	神川丸	RORO	13,018	6,387	D-21,618	22.0	2002年9月	内航定期船
	げんかい	RORO	7,097	5,445	D-26,400	22.0	1997年6月	内航定期船
	勇王丸*	RORO	9,348	5,335	D-17,185	20.7	2001年6月	内航定期船
	ほくれん丸	RORO	13,950	6,597	D-24,256	23.5	2006年6月	内航定期船
	第二ほくれん丸	RORO	13,950	6,597	D-24,256	23.5	2006年7月	内航定期船
	JP COSMOS*	石炭専用	7,287	6,600	D-4,420	12.0	2008年2月	内航不定期船
	JP TSUBAKI*	石炭専用	7,287	6,600	D-4,420	12.0	2008年11月	内航不定期船
社 船 ・ 共 有 船 計		12隻	100,662	66,023				
定 期 用 船		39隻	296,567	394,703				
運 航 船 船 合 計		51隻	397,229	460,726				

# 川崎近海汽船株式會社

東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 (〒100-0013)

TEL:03-3592-5800 FAX:03-3592-5911

## 当社IRサイトをご活用ください。

当社ホームページでは、プレスリリースや経営計画、決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。

<http://www.kawakin.co.jp/ir/index.html>

## 株主メモ

- |                               |                                                                                                                                                   |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■事業年度                         | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                 |
| ■定時株主総会                       | 6月                                                                                                                                                |
| ■同上総会権利行使株主確定日                | 3月31日                                                                                                                                             |
| ■配当金受領株主確定日                   | 3月31日                                                                                                                                             |
| ■中間配当受領株主確定日                  | 9月30日                                                                                                                                             |
| ■基準日                          | 上記確定日のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。                                                                                                                   |
| ■株主名簿管理人                      | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社                                                                                                                       |
| ■郵送物送付先<br>(電話照会先)            | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>中央三井信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)<br>取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに<br>日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。     |
| ■公告方法                         | 電子公告により行います。公告掲載URL ( <a href="http://www.kawakin.co.jp/">http://www.kawakin.co.jp/</a> )<br>ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、<br>日本経済新聞に掲載いたします。 |
| ■住所変更、単元未満株式の<br>買取等のお申出先について | 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。<br>なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、<br>特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。                                                |
| ■未払配当金の支払について                 | 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。                                                                                                                   |



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

川崎近海汽船はチーム・マイナス6%に参加しています。



古紙配合率70%再生紙を使用しています